

# 「中枢賦活機能表示」で米国 FDA が承認 ホスファチジルセリン(PS)の臨床資料 ～免研オメガPSの含有成分～



難病・がん治療による副作用を緩和するために細胞小器官「糖鎖」の研究・開発を



西洋医学と補完医療の融合で「難病克服」を推進する……

**NPO法人 補完代替医療推進センターCAM** の目的

当団体は、難病をはじめとするあらゆる疾患の闘病患者を対象に、関係する専門家や医療機関その他諸団体と連携を図り、現代の西洋医学と補完代替医療との併用による治療法の研究開発並びに実践を行うことを目的として設立いたしました。補完代替医療とは、機能性食品、中国医学の鍼灸・漢方、気功・呼吸法、Zen禅、各種伝承医学、アロマセラピー、食事療法等々を組み合わせ利用し、自然治癒力を回復させ、治療に導く方法です。そのための機能性素材や免疫機能賦活素材(細胞小器官・糖鎖)等々の調査研究開発事業を行うとともに、補完代替医療に関する情報の収集及び医療支援活動、相談活動を通じて、広く国民の健康に寄与することを目指します。

分科会「糖鎖自然医学研究会」「65才からの健康を考える会」「発達障がいを考える会」主宰 理事長 山本 英夫

<http://menken-cam.or.jp> <http://npocam.org>

作成：2021. 8. 24.

☛当センターでは、各種生活習慣病&難病でお困りの方の電話相談窓口を開設しました。  
毎週土曜日の午前中にお電話ください。・・・06-6943-0122

◆ 大豆抽出成分：Phosphatidylserine(PS)の臨床試験。



＜アルツハイマー型認知症における PS の臨床試験＞

①

研究者	患者数	病名	投与量	投与期間	PSによる改善
デルリゲ博士 (1986年)	35人	アルツハイマー (軽～中程度の 認知力低下)	1日 300mg	6週間(約 1.5ヶ月)	患者、家族にとって有益な 行動と行為の改善。認知力 の改善。
アマチ博士 (1988年)	115人	アルツハイマー (軽～中程度)	1日 200mg	3ヶ月	認知力、記憶力、日常の 活動能力の改善。
セナシー博士 (1993年)	425人	アルツハイマー (中～重度)	1日 300mg	6ヶ月	認知力:短期記憶力、集中力 注意力。行動・行為:引き こもり、無感覚、日常活動 の改善。
クルック博士 (1992年)	51人	アルツハイマー 55～80才	1日 300mg	12週	記憶力(家族の名前を思い出す。 置き場所を思い出す。昨日及 前週の詳細を思い出す。)集中力、 認知力、障害の軽度の人3 週間で分かる。
パルメリ博士 (1987年)	87人	認知症 (中程度の認 識力低下)	1日 300mg	2ヶ月	認知力:短期記憶力、注意力、 行動・行為:無感覚、引きこも り、日常生活。患者のクオリティ・ オブ・ライフを改善し、患者を家 族と会社へとどめおく。
ネジ博士 (1987年)	35人	認知症 (中程度の認 識力低下)	1日 300mg	2ヶ月	記憶力(思い出し)。
ヴァラルディータ (1987年)	170人	認知症(軽～ 中程度の認 識力低下)、55	1日 300mg	90日	記憶力、注意力、警戒心 PSの服用によって認知力低下 から認知症への進行は防止。
クルック博士	149人	加齢起因性認 識低下(ARCD )65～85歳	1日 300mg	3ヶ月	全員に改善が認められた。 顔と名前、顔の認識、電話番号 置き場所間違い、読書力、会 話力、集中力。

平均年齢 64.3 歳のサブグループ 57 人では、  
64 歳の記憶力年齢が 52 歳に若返った。

\*プラセボとの比較による無作為二重盲検臨床試験

<備考>

②

- アルツハイマー型認知症で消失した認識力(記憶力、学習力、集中力)を部分的に蘇生する。
- アルツハイマー型認知症の無表情、無感覚、引きこもり、日常活動を中心とした行動と行為の改善。
- 患者のクオリティー・オブ・ライフを改善し、患者と家族と社会へとどめおく。
- 初期の症状の患者に最も大きな効果が期待できる。
- 認知症の初期の段階で摂取すると認識力劣化を防止する。
- 記憶力、認識力の低下で将来に不安を抱いていたり、非活動的で引きこもりがち、うつ症気味の人に、PSの大きな恩恵にあずかることができる。

<老人性うつ症における PS の臨床試験>

研究者	患者数	病名	投与量	投与期間	PSによる改善
マギノ博士 (1990年)	10人	うつ症の婦人 70~80歳	1日 300mg	45日	うつ症、社会的関心、 協調性が著しく改善。
ラッポ博士 (1990年)	30人	うつ症、アルツハイマー 型痴呆症、脳 卒中後の痴呆	1日 400mg	30日	うつ症のグループは著しく 改善。
ギンテン博士 (1995年)	72人	記憶障害及び うつ症	1日 300mg	3ヶ月	うつ症、記憶力、認知力

<パーキンソン症における PS の臨床試験>

フュンゲル博士 (1987年)	12人	パーキンソン	1日 200~ 500mg	3週間	9人の患者で運動機能及び脳波 が改善。1人患者は500mgに 増やし、1週間後に運動機能が 劇的に改善。
アルベンツェル博士 (1980年)	10人	アルツハイマー	200mg 静注	—	脳脊髄液におけるドーパミンの 代謝物である HVA 及びセロト ニンの代謝物である 5-HIAA の濃度 が増加。運動機能、対人関係が改善。

\* プラセボとの比較による無作為二重盲検臨床試験

<その他>

③

研究者	患者数	病名	投与量	投与期間	PSによる改善
マツルガ博士 (1990年)	—	TSH <sup>1)</sup> 分泌抑制 のある老人	1日 400mg	30日	SH分泌によるサーカディアンリズム (1日の生体リズム)が回復し、 その回復は22歳の若者と同等であった。

備考：脳下垂体から分泌される TSH ホルモン分泌の正常化により昼と夜の活動が正常になる。夜の徘徊の改善につながる。

ネジメ博士	14人	DEX <sub>2</sub> <sup>2)</sup> 抑制の ない老人、	1日 300mg	60日	DEX抑制が回復した(スト レス対応への若返り)。
-------	-----	---	-------------	-----	------------------------------

備考：ストレス反応の正常化。無関心、無感覚、無表情が改善された。

クリクハマー博士 (1990年)	8人	アルツハイマー(軽～ 重症)57歳～ 72歳	1日 500mg(Fブ ドウ糖)	21日	PET 造影で、AD 患者特有の 脳代謝の低下が認められた(頭 頂-後頭-側頭-前頭部位)。PS 投与により、全般的頭部の代謝上昇 (15%)、大脳皮質及びその下部糖代謝 の著しい上昇、神経節及び視床では、 20%上昇、視覚皮質では、19%上昇。
---------------------	----	------------------------------	------------------------	-----	---

備考：脳の糖代謝の低下したアルツハイマー病、認知症、老人性うつ症、パーキンソン症等々の脳の代謝を活発にし、神経機能の回復を可能にする。

モンテロン博士 (1992年)	9人	健康な男性 18～40歳	1日 800mg	10日間投与 1週間休み	肉体的運動負荷による AHTH 及び副腎皮質ホルモンの分泌 or 400mg を1セットとし、3セット 反応が抑制された。
--------------------	----	-----------------	-------------	-----------------	---

備考：肉体的運動負荷によるストレスで誘発される視床下部-脳下垂体-副腎軸の活性上昇が抑制される。若い人のストレス対応能力を高める。

ライエル博士	27人の 子供	ADHD (注意散漫過多動) 3～19歳	1日 200mg	4ヶ月間	27人中25人に明確な臨床上 の改善が見られた。粗暴な行 動が一貫して沈静化された。 注意力、集中力、学習力及び行動 が改善され、効果は学力にまで及んだ。
--------	------------	----------------------------	-------------	------	---

備考：子供に投与した場合も、副作用は全く見られなかった。又、注意散漫過多動に、米国ではリタリン、アデラルが投与されるが、PSはそれ以上の効果を示し、副作用はない。

Note \*上記臨床試験において、PSに起因する副作用は一切報告されていない。

DEX：デキサメタゾンという合成糖質コルチコイド<sup>3)</sup>のことで、若い人に投与すると、ストレスを調節するヒドロコルチゾンや副腎皮質ホルモンの分泌を24時間以上抑制する。(DEX抑制)

PET：Positron emission tomography 陽子照射断層撮影・生体内の生理学的・生化学的

変化に忠実に表現する。 作成：NPO 法人補完代替医療推進センターCAM H/Y

アメリカで評判になったベストセラー

「アルツハイマー型痴呆症・脳血管性痴呆に役立つ」

免研学術資料

～“免研・オメガPS 粒剤の主成分”～

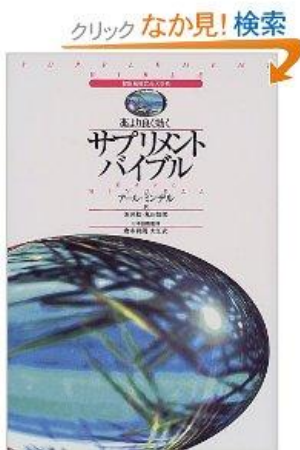
2011.4.25. 2013.3.20.追筆

書籍・薬より効く～「サプリメントバイブル」

アール・ミンデル博士 著より 世界的有名な薬学・栄養学の博士です。

ベストセラー「ビタミン・バイブル」の著者

＜ホスファチジルセリン PS・大豆抽出リン脂質＞



事実最近、五十歳代の友人が私に、物忘れがひどくなったと告白しました。電話番号を思い出すのに時間がかかり、人の名前を忘れることもしょっちゅうだし、メモしておかなければ何をするつもりだったのかも忘れてしまうそうです。このことは彼にとって悩みの種でしたが、これがごく自然な現象であることを知って彼は安心しました。事実、この現象には「**老化に伴う記憶障害**」という名前さえついているのです。私たちは中年期に差しかかると、老化に伴う精神的変化が起きているのを感じるようになります。このような変化のなかで、とくに

気になるのが、一時的な記憶力の低下です。何十年も昔の出来事をはっきりと覚えているのに、たったいま紹介された人の名前を忘れてしまうことがあります。

中年期をすぎて**記憶力が低下する理由は、正確にはわかりませんが、脳に存在する化学物質の変化が原因だとする証拠があります。**脳にはリン脂質など、大量の脂肪組織が含まれています。リン脂質は細胞を結合させるだけでなく、細胞に出入りする物質をコントロールしています。PSはとくに重要なリン脂質の一種で、化学伝令を脳に行き渡らせて、細胞が情報を蓄積し、探し出せるようにします。中年期をすぎると、PSなどの脳内の重要な化学物質が減少し、脳が十分に機能しなくなることが理由のひとつです。

**PS サプリメントを摂ることで脳能力を向上できるという証拠がありません。**最近「神経学」誌に発表された研究報告では、正常な老化に伴う記憶障害をもつ五十歳から七十歳までの健康な男女 149 人を対象に、毎日 100 グラムの PS と偽薬を 12 週間にわたって投与しました。



PS グループは、電話番号や顔や名前を記憶する力や、文章を記憶する力、間違い探しを解くスピードや集中力などが著しく向上しました。一方、偽薬グループには際だった変化は見られませんでした。この研究を行った研究者によれば、**PS サプリメントが被験者の精神能力を平均十二歳も若返らせたこととなります。**老化に伴う記憶障害がある人は PS を試してみてください。





一般社団法人免研アソシエイツ協会  
NPO 補完代替医療推進センターCAM

〒540-0026 大阪市中央区内本町 2-3-8-811 TEL:06-6945-3520

FAX:06-6920-9252

Mail:info01@menken-cam.com <http://menken-cam.or.jp>